

令和3年度 自己評価及び外部評価結果

令和3年10月27日

運営推進会議にて実施

有限会社 瑠泉会太陽
瑞浪グループホーム太陽の家

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール（瑞浪グループホーム太陽の家）

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容
I. 理念・安心と安全に基づく運営					
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3つの理念を挙げ、職員間で実践を行う為の意識づけや、理念の共有に努めている。	
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出した際には挨拶を交わし、畑で採れた野菜を頂く事もあるが、地域のイベント等には入所者さん自身が高齢であり、参加できていない。	入所者さんが高齢であり、一人での歩行が難しい方が多い為、一人ずつの近所の散歩位しか出来ない。保育園も近くにない為訪問してもらう事も難しい。入所者さんの状態を見ながら、出来る範囲で交流されるといい。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に1度、年6回の会議を開催出来ている。毎回、市役所、区長、町内会長、民生委員に出席して頂けており、運営状況や取り組みを報告し、意見を頂けている。	ホームの中で行っているの、入所者さんの様子も見ることが出来ており、問題なし。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要時には連絡を取り、意思疎通を図っている。市主催の会議やイベントにも参加している。	運営推進会議には、毎回市の職員が出席しており、議事録も提出して頂いている。市主催の会議や研修があれば案内しており、太陽さんからも出席して頂いているので、十分連携は取れています。

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的には身体拘束は行わない方針だが、入所者の安全な生活に支障があると判断した場合は、本人や家族の同意を得た上で書面を交わし、行う事もある。	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会で虐待について学び、職員同士が言葉使いも含め、注意を払い、防止に努めている。	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在はこの制度を必要とされている方はいないが、今後必要があれば活用できるように支援していきたい。	
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に不安や疑問点をしっかりと聞いて、その都度対応する事で理解を得ている。	
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時に意見を聞いて、その意見を介護計画に反映させている。	

10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	仕事中や休憩中、連絡ノートやミーティングを利用し、職員からの意見や希望を出来るだけ取り入れる様にしている。	
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の働き易さが一番と考え、どうすれば働き易い環境になるのか、職員からの意見を聞き、取り入れるようにしている。介護技術的な事に対して、その場その場でスタッフに教育している。	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティングの中で勉強会を行ったり、研修の情報があれば職員へ提供し、参加を促している。	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修やイベント等に参加した際に交流したりして、サービス向上に繋がるものは取り入れている。	
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護する側される側共に、お互い様の気持ちで支えあい、感謝しあう関係を築いている。	

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、各居室内での面会はお断りしているが、5～10分位であれば、玄関先での面会を実施している。	今年はコロナの影響もあり、感染症対策で面会もままならない状態で、入所者さんの中にはストレスになった方もいると思われる。線引きが難しかったと思われる。その中で、玄関先での面会を受け入れている。
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所者さんとゆっくりと話す時間を作り、思いや意向を把握して、介護計画に活かしている。	
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族との話の中から得た情報をもとに、介護計画を作成し家族に確認してもらいサインを頂いている。月末には介護計画の評価と反省を作成し、家族からサインを頂いている。	見せてもらった介護計画書や評価と反省を見ると、細かく書かれているので、Aの十分にできているで良いと思う。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録は、ケアプランに沿って記入し、スタッフ間で情報を共有している。	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族が遠方の方は、必要なものをスタッフが買い物に行く事もある。必要に応じた支援をしている。	・みんなで買い物に行くイベント等あっても良いのではないかと。 以前は買物や食事に一緒に行く事もあったが、入所者さんは忘れてしまうので、計画した職員ががっかりする事があった。

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域資源の活用は出来ていないが、地区の区長さん、町内会長さん、民生委員さんの協力を支援に活かしている。	何を指して地域資源というのか？公園は少し距離があり利用していない。公民館を使いたい時は言ってもらえれば利用できます。人的には、区長、町内会長、民生委員が必要であれば声をかけてほしい。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月2回、施設担当医の回診があるが、個々の状態や希望によっては、入所前からのかかりつけ医を受診する方もいる。必要時には、介護サマリーと情報提供書を持って受診して頂いている。	
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院先の病院と、情報提供書や介護サマリ－のやり取りを行ない、本人や家族の支援に努めている。	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状態や今後予想される現状を踏まえて、家族と今後について話し合い、対応方針を決めている。家族には、ホームでは出来る事と出来ない事があると言う事を説明し、書面も交わしている。	

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時対応マニュアルを作成している。 職員間で対応方法の検討や訓練を行うようにしている。	
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回消防訓練を行い、そのうち1回は消防署員立会いの下で行っている。災害時の備蓄も行っている。	情報提供をしてもらえれば、消防訓練にも都合がつけば協力できる。 避難先は、千寿の里西小田さんをお願いしており、コロナが落ち着いたら、合同での避難訓練も予定している。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所者さんの自尊心を損なう事が無いように、スタッフ同士がお互いに注意するようにしているが、慣れでプライバシーが抜ける事もある。	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	集団生活である為、守って頂くルールはあるが、一人一人の希望には柔軟に対応するようにしている。	
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染、清潔の関係から、食事の準備や片付けは職員が行っている為やっとう事は少ないが、食後のテーブル等は拭いてもらっている。	

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人一人に合わせて、量やバランスを考えている。形状は、歯の状態や嚥下の状態に応じて変えている。	
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	歯科医や歯科衛生士の定期的な訪問があり、アドバイスを受け、毎食後一人一人に応じた口腔ケアを行なっている。	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄チェック表を作成し、個別の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行なっている。日中は出来るだけオムツは使用せず、トイレでの排泄を促している。	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員配置の都合上、入浴日や時間、順番はこちらで決めているが、湯温や入浴時間は、体調に配慮しながら可能な限り対応している。	
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々のペースに合わせて起床や就寝時間を決めて対応している。	

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬チェック表に、薬の効能を記載し、薬局からの薬剤情報書はファイルに綴じて、いつでも見られる状態にしている。	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々が持っている能力を活かせるような声掛けや、個別にカードを見せたり本を読んだり、能力に応じた働きかけを行なっている。	新聞広告で箱を折ったり、洗濯物を干したり畳んだり、入所者さんの能力にあった事をやらせている。貼り絵の作成では、紙を切る、貼るで役割を決めて作ってもらっている。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年齢やADLの低下により難しい場合が多いが、天気の良い日に近所を散歩する時もある。入所者さんの年齢や歩行状況、コロナ禍でもあり出来ていない。ホーム内での歩行を促している。	コロナが落ち着いたら、近所の散歩をされると良いと思う。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、金銭を所持している方はいないが、必要があれば、本人又は施設で管理を行うこともある。	
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望があれば、家族と電話で話したり伝えたりと、対応するようにしている。	

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不快な雰囲気や臭い、室温等が無いように気を付け、落ち着いて過ごせる空間作りを意識している。	
----	---------------	--	---	---	--

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所者さんとの話の中から、本人の思いや願いを聞き取り、自ら手芸をしたり、自室で将棋を見たり、能力のある人は、個々に自宅で行っていた生活に近づける様、気を付けています。	
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができます	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前や入所後の聞き取りから、以前の趣味や習慣を聞きながら、会話をスタッフと1対1で行う支援をしています。	
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができます	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月2回の担当医の回診がある他、普段の表情や排泄物の状態を観察して、普段と違う所があれば、すぐに看護師や施設担当医に連絡して指示を受ける様になっています。	

43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事や排泄等の声掛け以外は、施設内であれば自由に生活して頂いている。	
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室には、自宅からなじみの物や、写真等大切なものを持ち込まれている。	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人での外出は出来ないが、コロナ前は、家族が外出させたい時や、年末年始に、能力のある人は日中自宅で過ごし、夜はホームに帰ってくる事もあった。	この1年はコロナのため出来ていないが、コロナ以前は、ご家族の協力が得られれば、外出、外泊もあった。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の能力に合わせて、洗濯物を干したり畳んだり、新聞広告でゴミ箱を作ったりしている。	
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所者さん同士で会話をしたり、居室で過ごしたり、自分のやりたい事をいきいきとした表情でやっている。	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所者さんは高齢であり、個々で地域の方と交流することは難しいが、職員を介して関わりを持ったり交流したり出来ることがあれば、援助していきたい。	協力できることがあれば言ってもらいたい。

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所者さんが直接、地域の人々と交流を行なう事は出来ていない。職員は入所者さんと気兼ねなく話ができる関係を築く努力をしており、しっかりと話を聞く事で、安心して穏やかに生活が出来、ここが終の棲家となる様にサポートしていきたい。	下段に記載
----	----	--	---	---	-------

総合評価

- ・災害対策では、千寿の里西小田さんの推進会議に出席した際に、グループホーム太陽から避難先の受け入れ依頼があったと話が出ていた。こういった取り組みは良い事だと思う。
- ・入所者さんが高齢であったり、コロナ禍と言う事もあり、やりたい事がなかなか出来ない現状であり、あまり出来ていないと言う評価に繋がっていると思う。コロナ禍が解消されて来れば、もう少し評価も上がってくるのではないかなと思う。
- ・グループホーム太陽と同じように、しっかりとやられていると思う。
- ・入所者さんの様子を見ていたが、皆さん落ち着いて生活されており、施設の役割を果たしてみえと感じた。
- ・49総合の自己評価記述の最後の2行がとても良いと思いました。こうなる様に目指して頂きたい。